

○議長（中本正人君）順番3、6番 小林君。

〔6番（小林 弘君）登壇〕

○6番（小林 弘君）「おもしろうてやがて悲しき鶺鴒かな」、知ってますよ。朝ドラ誘致が東京オリンピックまでに実現できますように、願うのであります。

皆さま、改めておはようございます。

議長のお許しをいただきましたので、大きく3点、質問をさせていただきます。

まずはじめに、近年、海水温上昇による頻繁に発生している大型台風の風水害に対処するための質問であります。

近い将来、今よりも大型のスーパー台風が上陸するであろうと、昨日テレビ番組で放映されておりましたが、8月の九州地方に上陸しました台風15号の影響により、長崎県雲仙岳では、観測史上最多となる1時間134.5mmの雨量を記録。気象庁のレーダーによる解析では、福岡市と佐賀市で、いずれも1時間80mm以上の猛烈な雨が降りました。

このように、これからは想定外という言葉は市民の皆さまには通用しないと思いますので、質問をさせていただきます。

質問項目1、樋門周辺の水害対策と拠点避難所の整備状況についてであります。

①今後の排水ポンプの設置予定は。

②県に対して要望している大谷川のフラップゲートの設置はいつになるのか。

③拠点避難所の整備状況。

ご答弁よろしくお願ひします。

次に、質問項目2であります。

橋本市図書館の今後についてであります。

①橋本市として、現在の図書館の規模の現状で満足をしているのか。

②子どもたちやご年配の方々、また、小さいお子さま連れの方の利用に適した設備は。

③和歌山県、また橋本市の読解などの学力はどうか。

④現在の図書館の利用率は。

⑤アンケート調査はどのようにされているのか。

⑥今までに図書館を新しくつくってほしいという要望はなかったのか。

この質問は、市民の皆さまからいただいた手紙を参考にしておりますので、希望の持てるご答弁、よろしくお願ひをいたします。

次に、質問項目3、頻繁に起こる重大犯罪に対する本市の今後の取り組みについてであります。先般、紀の川市、また寝屋川市において発生いたしました痛ましい事件が再び起こることのないように、市民の皆さま、市役所、警察、学校、家庭が一つとなり、将来ある子どもたちが安心・安全に暮らせますことを願ひ、以下の質問をさせていただきます。

①子どもたちが凶悪事件に巻き込まれないように、本市としてどのような取り組みをされますか。

②凶悪事件に対しての早期解決、また抑止力としての防犯カメラの重要性。

③他の自治体の設置状況の調査と、本市の早期設置の推進。

以上、ご答弁よろしくお願ひを申し上げます。

○議長（中本正人君）6番 小林君の質問項目1、樋門周辺の水害対策と避難拠点の整備に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（塙阪 隆君）登壇〕

○建設部長（塙阪 隆君）樋門周辺の水害対策についての1点目、今後の排水ポンプの設置予定についてお答えします。

排水ポンプの設置については、昨年度、大谷川樋門に隣接する団地の排水路末端付近において、ポンプ及び排水管の常設化を実施しました。

また、今年度は野樋門において、水防ポンプの改修工事を実施しました。この改修で、毎分8 m<sup>3</sup>の排水能力が毎分20 m<sup>3</sup>に能力が上がることから、樋門周辺地域の浸水被害の軽減が図れるものと考えています。

加えて、これまで水害等発生のおそれがあるごとに、水防ポンプ及び排水管を設置していましたが、今回、一体的に常設化したことにより、ポンプ稼働までの時間短縮や道路通行どめが不要になるなど、早急な災害対応が可能となりました。

それ以外にも、樋門周辺地域での水害対策として、市内4箇所において、洪水時には水防ポンプを稼働することとしており、今後これらについても、ポンプ等の常設化を進めていきたいと考えています。

なお、現在新たな箇所への設置計画はありませんが、近年異常降雨等が発生する中で、まずは巡視点検の徹底を図ることで、浸水危険性等の実態把握に努めてまいります。

2点目の、大谷川のフラップゲートの設置についてお答えします。

施工主体となる和歌山県に確認したところ、来年度設計を実施し、用地境界及び諸官庁との調整完了後に予算措置を行い、再来年度に工事を実施する予定であるとの説明を受けています。

○議長（中本正人君）総務部長。

〔総務部長（吉本孝久君）登壇〕

○総務部長（吉本孝久君）次に、拠点避難所の整備状況についてお答えします。

本市では、災害が発生し、自宅が被災した方が避難生活を送っていただく場所として、小・中学校を中心に35施設を拠点避難所に指定しています。

避難所の内訳は、幼稚園1箇所、小学校14箇所、中学校7箇所、高等学校3箇所、支援学校1箇所、区が管理している区民会館等2箇所、市が管理している体育館等の施設7箇所となっています。

各避難所には防災倉庫が備え付けられており、平成24年から26年の3年間で主な備品については整備が完了し、現在は10年保存水や防災用毛布の整備を進めています。

市民からの要望として、各避難所に簡易テレビを設置してほしいとのご意見をいただいておりますが、情報収集については、防災倉庫内に常備しているラジオでの対応をお願いしています。

また、トイレの対応については、防災上の観点から必要不可欠であり、平成24年度に拠点避難所全てに簡易トイレを配備しています。この簡易トイレは、組み立てると洋式タイプのトイレとなり、水を使用せずに1回ごとに袋に入れて処理し、衛生面においても配慮されています。

学校施設は、主に体育館を避難所に使用することになりますが、トイレの洋式化や手すりの設置については、教育施設の改修にあわせて整備を進めてまいります。

○議長（中本正人君）6番 小林君、再質問ありますか。

6番 小林君。

○6番（小林 弘君）どうもご答弁ありがとうございました。

既存の水防ポンプの設置箇所に市が実施している事業については理解をいたしました。市はそれ以外で、浸水している樋門周辺箇所へのポンプの設置は検討をしないのか、よろ

しく願います。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）現在のところ、市内6箇所で樋門の部分については設置をしておるわけですが、現状としては新たに設置というのは、現在のところ計画はしていません。

ただ、冒頭でも申し上げましたように、近年、非常に異常降雨が発生している状況でございますので、そういった浸水箇所の把握に努めるべく、今後、現在行っております巡視、これを徹底してまいりまして、まず、その現状の確認、そちらのほうに努めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ご答弁ありがとうございます。

平成25年9月の台風による水害において、南馬場樋門周辺において民家にまで被害が出ておりました。また、学文路区内雇用促進住宅前の工場においては、大規模な水害が、被害が出ていますが、本市として把握をしておりますか。

答弁よろしく願います。

○議長（中本正人君）総務部長。

○総務部長（吉本孝久君）平成25年9月16日の台風18号の被害状況でございますが、まず、南馬場樋門につきましては、被害届は出ておりません。道路が一部冠水したという話は聞いております。

それから、安田島樋門のほうでございますけれども、これについては和歌山県の商工振興課より、鉄工会社のほうで浸水被害で二、三日休業したという話があるというのを聞いております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）どうもありがとうございます。

把握しているのであれば、南馬場樋門周辺は道路冠水ということで、今ご答弁いただいておりますけれども、私が現場で見ると、民家のガレージまで水が達しておったところでもあります。

せんだってでも担当課の方と、全ての樋門を回らせていただきましたが、そこに仮設のポンプを置くというのは可能か可能ではないか、ちょっと私自身でわかりませんので、かなり厳しい水位まで上がっていたように思います。それで、他のポンプのない樋門においても、かなり厳しい水位にまで達していた箇所がたくさんあると思います。今後、しっかりと課題にしていきたいと思っております。

次に、少し詳細に確認したいのですが、去年は、大谷川樋門の周辺での水害は幸いなかったのですが、紀陽団地周辺は、今後も浸水被害が起きる可能性が高いと考えます。市のほうで大谷川樋門付近にポンプ増設というのは検討しておりますか。

よろしく願います。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）紀陽団地につきましては、昨年度ですけれども、ポンプの能力アップを行いまして、従前と比べますと一定、その効果については発現ができる状況になっているというふうに思っております。ということで、現時点でのポンプの増設については考えはございません。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

紀の川が増水しますと、せんだっての台風では、堤防を乗り越えてきて、市の管轄する側の住宅には越流してはおりませんでした。平成25年9月16日、台風18号の折には、大谷川の住宅側堤防というんですか、国土交通省が管轄する堤防ではなしに、県が管轄する堤防になるのかと思っておりますが、そこを越流して、

市の管轄する住宅側に水が入り込んできたということであります。

それを早速とめていただくには、まず、フラップゲートの設置プラス国土交通省管理の堤防と民地の低い間に盛土をしていただいで、越流をしないようなことをしていただかないと、いつまでたっても住宅地のほうへ越流してくると思いますが、どのようにお考えになりますか。

よろしく申し上げます。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）河川から越流についての対策ができますと、確かに議員おただしのよう、浸水等の被害の軽減に大きく寄与できるのかなというふうに思っております。

ということで、今後フラップゲートの設置、それから、今議員のほうからもおただしありました盛土等の対策につきましても、河川管理者であります和歌山県のほうに、引き続き要望をしてみたいというふうに思っております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

大谷川が平成25年の台風時に、大谷川は県河川ということで、県に対してしっかりと排水ポンプを、先ほどの盛土も一緒なんですけど、フラップゲートももちろんそうなんですけど、排水ポンプを設置していただきたいという要望は県のほうには上がっているのか、ちょっとお聞きしたいです。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）現在のところにつきましては、まず越流対策として、フラップゲートの設置ということで要望をさせていただいております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）先ほど建設部長の答弁で、ポンプの常設化を行うとのことでしたが、

これは計画的に実施し、市が最後まで責任を持って完了していただけるのか、ご答弁よろしくお願いします。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）これまで常設化ということで、大谷川、野というふうに進めてきたわけでございますけども、今後についても継続して常設化を図ってまいりたいと思っております。

現在のところは、神野々樋門での常設化についての取り組みを進めておるわけでございますけども、ただ、予算上の問題もございますし、また、設置にあたりましては、県並びに国等への関係機関への協議も必要となりますので、時間はかかるわけでございますけども、今後についても鋭意進めてまいりたいというふうに思っております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ご答弁ありがとうございます。

排水ポンプを常設していただき、排水路の工事をしていただくと、そこに周辺に住まわれている市民の方は、かなり安心されると思います。

先ほどご答弁の中で、神野々の樋門でしたですか、病院の近くで水害が起こっているということで、神野々樋門なんかは特に早い目な排水ポンプの常設、また、排水路の設備等を早急に、お金のかかることですので予算に依じてやっていただいたらいいと思いますけど、特に、病院のあるところは早い目な対処はお願いしたいなと思います。

それと、高野口方面の垣花・浦島川樋門においても、パイプのほうを埋めていかれる、予定に入っているということで認識さしてもうてよろしいですか。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）現在稼働しており

まず樋門関係の部分につきましては、ポンプだけでなく、そういった排水路の常設化を行いまして、まず、その稼動までの時間が飛躍的に短縮できると思います。また、通行どめ等の必要もなくなるということでございますので、順次、今後進めてまいりたいというふうに思っております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

ポンプを常設していただいて、排水路をしっかりと整備をしていただいたら、本当に、特に私の地元なんかも見ておりますけども、市民の方、安心しております。

また、やっちゃんの前のところも、先般から完成されたと思いますけども、やっぱり地元とすれば相当な安心感があると。予算が確保できる限り、順次整備のほうをしっかりとしていただきたいと思います。

次に、樋門は工場が浸かったところ、また、南馬場樋門のところ、しっかりと現状を見ていただいて、できる限りそちらのほうも、ポンプの設置を早急に進めていただきたいと思いますので、これは、まだまだ神野々樋門とかの後になるのか、それは市のほうで考えていただきまして、できるだけ同時進行で前向きに進んでいただきますように心よりお願いを申し上げまして、一つ目の質問の1番、2番に対しては、これで終わらせていただきます。

次、避難拠点の整備についてでございます。

この拠点避難所の整備についてということで、これは何で質問させていただいたかというのは、せんだったの、被害があまり出ませんでしたけど、避難勧告の出た台風がございましたが、そのときに、平成25年の台風の被害がきっかけだったので、そのおばあさんと一緒に避難しておきませんかというお声をかけらしていただいたということでございましたが、

避難拠点へ行っても、私も足悪いし、迷惑かけるんだよ、もう行きたないよ、と言ったということでした。それがありましたので、この避難拠点の整備についての質問をさせていただきました。

大谷川樋門が越流すると、紀陽団地というところが見つかるわけですが、そこから拠点避難所といえば学文路小学校になるわけですが、学文路小学校の拠点避難所の体育館のトイレの状況というのは、どんな感じになっておりますか。

○議長（中本正人君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）学文路小学校の屋内運動場、体育館のトイレですけれども、男性につきましては、小便器が四つに大便器が一つ、洋式でございます。それから、女子のトイレにつきましては、和式が二つと洋式が一つでございます。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

拠点避難所、学文路小学校の体育館ということで、日頃は小学生が使うのが目的であって、そういう拠点避難所の整備というのは、なかなか遅れていくんだと思いますけども、今回の、そういう避難勧告が出たときに行っても、トイレに行くのに介護していただかなあかんということで、行くの嫌なんよというような市民の方の声があったということで、その拠点避難所のトイレ以外にも、橋本市の拠点避難所のトイレの、体の不自由な方の使い勝手の良いようなトイレの改修というのは、今後どのようにお考えになられてますか。

○議長（中本正人君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）先ほど壇上で、総務部長からの答弁にもございましたが、基本的に各学校、順次、大規模修繕に教育委員会として取り組んでおりますが、その中で、屋内運動場、体育館のトイレ等の改修というの

も進めていくこととなります。

今回、学文路小学校につきましては、来年、再来年で改修をする予定といたしておりますけれども、体育館のトイレの改修についても行っていきたいというふうに考えております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございます。

できる限り、市内拠点避難所のトイレにつきましては、普通、新しい建物ができますと、男子、女子、真ん中に身体障がい者用のトイレというのが、だいたいセットでできていると思いますが、体育館というのは、つくるときにどんな感じで作ってるんかちょっとわかりませんが、体に不自由のある市民の皆さまにも使い勝手の良いトイレにさせていただけることを、心よりお願い申し上げます、この一つ目の質問は終わらせていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長（中本正人君）この際、6番 小林君の質問項目2と3に対する答弁を保留して、午後1時まで休憩いたします。

（午前11時55分 休憩）

（午後1時00分 再開）

○議長（中本正人君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

6番 小林君の質問項目2、橋本市図書館の今後に対する答弁を求めます。

教育長。

〔教育長（小林俊治君）登壇〕

○教育長（小林俊治君）お昼第一の答弁ということで、緊張しております。

橋本市図書館の今後についてお答えします。

1点目の「橋本市として現在の図書館の規模の現状で満足しているのか」のご質問については、現在、本市図書館の延べ床面積は約1,400㎡で、日本図書館協会発行「日本の図書

館2014」による全国同規模人口7市の図書館の平均面積約2,000㎡を下回っています。

また蔵書数について、本市は約14万冊であるのに対し、7市平均は約19万冊と、やはり下回っています。

市民1人当たりの奉仕面積、蔵書冊数の点など、決して満足と言える状態ではありませんが、図書館内にとどまらず、市内小学校をはじめ地区公民館等53ステーションへの移動図書館車の巡回や、インターネットによる学校図書館との連携、また、河内長野市、五條市、橋本市との3市による広域連携協議会において、公共施設の相互利用に取り組んでおり、図書館についても互いに利用できる施設とするなど、橋本市として読書に親しめる環境づくりに努めています。

次に、2点目の子どもたちやご年配の方々、また小さいお子さま連れの方に適した設備についてですが、図書館では、カーペットを敷き、靴を脱いで幼児の方も座って本が読める絵本コーナーの設置や、一般用の自習席とは別に、児童用の椅子と机を置いています。

また、閲覧室のところどころにゆったりと座っていただける椅子やベンチを配置し、本や新聞を見ていただけますし、トイレには手すりやおむつ替えシート・ベビーチェアの設置、身障者用トイレも設置しています。

そして、子どものおはなし会や赤ちゃんとお母さん対象のおはなし会、さまざまな方に参加していただけるよう、毎回テーマを工夫した図書館講座、参加者が主役の知的書評合戦「ビブリオバトル」なども定期的に開催しています。

続いて、3点目の和歌山県また橋本市の読解など学力についてお答えします。

まず、読書と学力の関係についてですが、一般に、読書をすれば言葉や漢字を覚えることはもちろん、読書スピードが伸びたり、文

字を通しての理解度も高まったりすると言われています。

毎年4月に、全国学力学習状況調査が実施されています。読書と学力の関係性について、学校の授業時間以外の平日の読書量においては、橋本市立小学校・中学校ともに、全く読書をしない子どもより、読書をしている子どものほうが高い学力を示しています。

また、和歌山県や橋本市の読む力の状況については、平成27年度学力学習状況調査において、小学校で全国平均、県平均を上回っており、中学校にあっては、全国や県平均を下回っているものの、その差が大きく縮まる等、全体において読む力が向上しています。

また、昨年度、橋本市子ども読書活動推進計画（第二次）が策定されました。この計画に沿って取り組みを進め、読書で培われる読む力を基盤に、学力向上や豊かな心の育成を図っていきたく考えています。

次に、4点目の現在の利用率についてですが、登録者数については平成11年度からの累計人数であるため、現在の人口との比較ができず、利用率としてあらわすことができません。なお、平成27年3月31日現在、平成11年からの全登録者数は2万9,798人です。

また、参考として、平成26年度の年間貸し出し冊数は20万8,764冊で、市民1人当たりの貸し出し冊数は3.5冊です。蔵書数に対する蔵書回転率は、1.4回となっています。

次に、5点目の「アンケート調査はどのようにされているのか」のご質問にお答えします。

平成25年秋の読書週間に、図書館利用者アンケートを実施いたしました。実施期間は2週間、図書館にアンケート用紙を設置し、利用者の方に記入していただきました。性別・年齢・住所・交通手段・職業等、ご本人に関する設問に続き、利用頻度や利用目的、5段

階評価による図書館サービスに関する満足度、その他に自由記述欄を設けました。

229人の回答をいただいた結果、利用については、約66%が女性、34%が男性、そのうち10歳代未満が13%、60歳以上が34%で、交通手段は70%の方が車を利用していることがわかりました。なお、集計結果については図書館報でお知らせいたしました。

また、たくさんいただいた図書館サービスについてのご意見やご要望から、レイアウト変更することで閲覧スペースを増やしたり、本の並び方を変えるなど、参考にさせていただいています。

最後に、「今までに図書館を新しくつくってほしいという要望はなかったか」とのご質問ですが、さきのアンケート調査で、もっと施設を大きくしてほしい、5階で使いにくいなどの意見をいただきました。また、生涯学習に関する市民アンケートにおいても、蔵書の充実・施設の充実を望む声をいただいています。

今後、図書館の充実や地区公民館・こども館、児童館での図書コーナーの充実、それらの施設とのネットワークの充実に努めてまいりたいと考えています。

○議長（中本正人君）6番 小林君、再質問ありますか。

6番 小林君。

○6番（小林 弘君）教育長、ご答弁ありがとうございます。

私も、あまり本を読まない人間でありまして、読解力が多分低いんであろうと思います。が、せんだってから岩出図書館と河内長野図書館のほうを見学させていただき、岩出図書館においては、館長さまとちょっとお時間いただいて、お話しさせていただきました。

岩出図書館の表で、返却に来られた女性の方とお話しさせていただいて、岩出図書館の

良いところ、どんなところですかということ  
で、ここは図書も充実しておるし、施設もき  
れいで、また、景観もええということで、図  
書を借りに来て、そのプラス散歩もして帰る  
んですということで、なかなかいい環境のと  
ころにあるなど、つくづく感心をして帰って  
まいりました。

橋本市においても、図書館のほうを見学さ  
せていただきましたけども、橋本市として、  
今すぐになかなか財源というのも大変だと思  
いますので、将来、目標といたしまして、よ  
その市のことを言うのではないですけど、橋  
本市として、橋本市の色に合った、充実した  
図書館を目標に立てていただいて、河内長野  
の図書館を見てびっくりしたのは、もうすご  
い、いろんなコーナーの施設が充実してお  
るんですか、DVDのコーナーで、また  
CDのコーナーでは、1人座って、その画面  
を1人で見て楽しんでいらっしゃる。僕が行  
ったときも、かなりの方がいらっしゃいま  
した。

そういうのを、多分、市の職員さんなんか  
も河内長野市、また岩出市のほうへご見学  
に行かれて、なかなかすごい施設であるなど  
思われてると思います。もう本当に今すぐつ  
くってくれとか、来年建ててくれとか、再来  
年建ててくれとか、そういうことをお願いす  
るのではなしに、10年後ぐらいを目標とさ  
れ、他市よりも橋本市は本当に図書館すご  
いですねと言われるような目標を立ててい  
ただき、それに向かって頑張っていってほ  
しいなど、ただただお願いするばかりでござ  
います。

その施設の中に、僕、すごい思うのは、橋  
本市の図書館においては、夏休みの子ども  
たちが宿題を持って入ってきたりとかいう  
のは可能で、本を借らずに、夏休みの勉強  
だけするか、そういうのは可能だったか、ち  
ょっと教えてください。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）可能です。夏休  
みになりますと、やはり勉強等で図書館へ  
来ます。クーラーも効いておりますし、皆  
で勉強したいという。

ところが、図書館、先ほどスペースで言  
いますと1,400㎡ですので、教育文化会館  
の1室を開放して勉強室としても活用して  
いただいているところです。だから、図書  
館以外の部屋でも勉強ができるような状  
況をつくっています。

あと、長期的な展望でいいますと、図  
書館、昭和51年に建てられました。39年  
経過しています。人で言うたら働き盛り  
ということになるんですけども、図書館  
の機能としては、やはり、かなり年数  
がたっているのではないかなというところ  
もあります。

ただ、25年のアンケートを見せてい  
ただきますと、職員の対応については92.6%  
の人が満足、やや満足に入ります。それ  
から、館内の居心地も87.8%の人が居  
心地がいいと。その他さまざまなこと  
で、いわゆるハード面で狭い、また蔵書  
が少ない等もございますけども、図書  
館に入ってくださいとわかると思うん  
ですが、図書館スタッフが本当に気持ち  
よく読書ができるようにということで、  
非常に工夫をして、レイアウトそれから  
飾り付け等、非常に頑張ってやってく  
れています。

そういう意味でいいますと、今も私自  
身、確かに議員おただしのとおり、必  
要な広さ、また位置も考えていって、  
長期的に新しい図書館というのは大切  
だと思っておりますが、今、スタッフの  
頑張りというのも、私はすごい評価を  
しております。そういう点で、お答え  
になったかどうかわかりませんが、も  
っと使い勝手のいい広い図書館とい  
うのは、やはり希望しております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）教育長、ご答弁ありがとうございます。

本当に、今あるものを否定するのではなしに、職員のお力で、あるもので最高のおもてなしをする、できるのが橋本市の図書館であると思います。

少し、ちょっと私の勉強不足もございましたけれども、一つ教えてほしいのが、各小・中学校の図書室なんですけれども、だいたい何冊ぐらいの本を置かれているのか、ちょっとお教え願えますか。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）学校の蔵書数につきましては、今、正確な数、学校ごとに違いますので、正確な数は把握できておりませんので、後に答弁させていただきます。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）教育長、ありがとうございます。

もう一つ、お尋ねしたいのが、小・中学校の生徒が、自分とこの学校にない図書において、また、橋本市図書館のほうにある本をお借りしたいといった場合は、それは小・中学校のほうに、ブックキーで届けていただけるようなシステムになっておるのでしょうか。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）ブックキー号は小学校のみになっています。中学校につきましては、例えばインターネット等で予約、これは元来ですと30冊まで、普通ですと30冊まで貸し出しはしておるんですが、インターネットの場合は4冊までの予約ができます。それでつながっています。

ちなみに、図書館の利用率なんですけれども、小学生の場合、図書館へ週4回行くという子どもが約2%です。1から3回ぐらい行くという子どもが約8%、月に1から3回ぐらい行くという子どもが20%、年に数回行くとい

うのが36%という形になっております。

そういう意味で言いますと、小学生は年に数回行くという子どもが一番多い状況です。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）教育長、ありがとうございます。

ちょっとお尋ねしたいのは、答弁、何ていうのか、質問がおかしいかわからんですけど、小・中学校の図書室というのは、全ての学校に図書室というものはあるんですよね。その、だいたい置かれている冊数というのは、小学校また中学校で結構ですので、どれぐらいの本の冊数置いてられるのか、ちょっとお聞きしたいんですけど。

（発言する者あり）

○6番（小林 弘君）これ、後ほどの話ですか。わかりました。ほな後ほど、すいません。

そしたら、まだ生まれたての赤ちゃんを連れていきたいと、図書室のほうへ行きたいんだということで、泣くのをかなり気使われらなあかんのですけれども、そういう方に対しての図書館のサービスというのは、どういうものがあるのか少し教えていただければありがたいんですが。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）赤ちゃんを連れて図書館へ来館される保護者の方というのもおられます。カーペットも敷いてありますし、その上でお母さんと子どもが絵本を見ているという様子は、多々見受けられます。

泣く場合というのは、やはり外に出ていただくか、泣きを皆でとめていくという、そういう形になろうかなと思っています。あまり泣いておる様子は、私は見たことはないんですけども、場合によってはそういうこともあろうかと思っておりますので、外に連れていってもうたりした対応になると思います。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）教育長、ありがとうございます。

市民の皆さまがいつ行っても、どの年代の方、また、お子さま連れの方が、いつ行かれてもリラックスできる図書館でありますことを、心よりお願いを申し上げますけども、先ほどもおっしゃってましたけど、やっぱり図書館の図書、充実することにより利用客が増え、また、子どもたちが図書を読んで読解力を上げていくというのが、これはすごい大事なことでありますので、どうか、お子さんたちもしっかりと来られて、集われる図書館になること、これまた続けて教育長に望んでおきます。

アンケートの調査の中では、やはり先ほどもおっしゃってありました施設の新築、また、その中の設備の充実、そういうのもあったと思います。お願いするばかりでございますけども、いろいろなところの図書館を見ていただいて、とにかく橋本市の良い色が出る図書館をめざしていただければありがたいと思います。

なぜ、今回この質問をさせていただいたかというのは、市民の方からこういうお手紙をいただきました。やっぱり、お手紙をいただけるということは、市民の方が橋本市の図書館に対して興味を持っておって、しっかりと、何も橋本市の図書館が悪いとは言いません。このお手紙でも。橋本市としてのこれからの図書館はどうなっていくかと問うてくれということで、夢を多分持たれていると思います。そしたら、橋本市が今できる教育文化会館の中にある図書館、プラスブッキー、プラスいろんなところにある図書の連携された、橋本市ならではのサービスをしっかりとつくっていただけますことを、心よりお願いを申し上げます、図書館についてはこれで質問を……。どうぞ、すいません。失礼しました。

○議長（中本正人君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）先ほど答弁を保留させていただきました小・中学校の蔵書冊数でございますけども、手元の資料で、小・中学校22校ございますが、合計で15万冊程度の蔵書数でございます。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ありがとうございました。

ちょっと私も、小学校・中学校、それがどれぐらい多いのか少ないのか、ちょっとわかりませんが、それだけの冊数があるのであれば、いろんなネットワークをつくって、よそに負けないようにしっかりと頑張っているいただきたいと願うばかりでございます。よろしくお祈りを申し上げます。

これにて図書館の質問を終わらせていただきます。

○議長（中本正人君）次に、質問項目3、重大犯罪に対する本市の今後の取り組みに対する答弁を求めます。

教育長。

〔教育長（小林俊治君）登壇〕

○教育長（小林俊治君）頻繁に起こる重大犯罪に対する本市の今後の取り組みについてお答えします。

先般、紀の川市での小学生児童殺傷事件や、寝屋川市中学生殺害・遺体遺棄事件等、凶悪犯罪が発生しています。家庭内でのコミュニケーション不足や地域コミュニティの希薄化による地域内の付き合いの減少などが、このような犯罪が起こる要因の一つと考えています。

幸い、本市では重大犯罪は起きていませんが、さまざまな部署で地域コミュニティの形成に取り組んでいます。教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを心豊かに育む取り組みとして、「子どもと大人

が共に育ち、育て合う」という意味で、共育コミュニティを市内3地域で実施しています。今後は、この取り組みを市内全域に広げていきたいと考えています。

また、市内各中学校区には、青少年健全育成会が組織され、子どもたちの登下校時の見守り活動をはじめ、最も不審者からの声かけ事案が多い下校時間に、市の防災無線を使用して、地域の方々に見守りをお願いしています。

また、橋本市補導委員会による夜間補導等も実施しています。今後ともこれらの取り組みを継続していくことが大切と考えます。

さらに、子どもたちが凶悪事件に巻き込まれないよう、学校と連携して保護者に対して、子どもだけで夜間外出をさせないことや、通学路等における危険箇所の把握についても協力いただけるよう働きかけています。

夜間に外出する子どもたちは、課題や悩みを抱えていることが多く、本市では、こどもメール相談を開設し、本市ホームページで紹介したり、ティッシュを配布して広報するなど、相談体制の充実に努めています。

○議長（中本正人君）総務部長。

〔総務部長（吉本孝久君）登壇〕

○総務部長（吉本孝久君）次に、二つ目の、凶悪事件に対しての早期解決、また、抑止力としての防犯カメラの重要性についてお答えします。

先日の寝屋川の中学生殺害事件では、防犯カメラの情報が犯人の特定に重要な役割を果たしています。

また、本市では、地域の皆さまの見守りや、青色回転灯搭載車による防犯パトロールなどの地域の力が、犯罪の抑止力として大きなものとなっていますが、防犯カメラの犯罪抑止力としての有用性についても認識しています。

現在、市で設置している防犯カメラについ

ては、駐輪場等の施設管理用のカメラを除き、道路に設置しているものは市役所南西交差点に2台、学文路小学校前に2台、岸上橋南詰の学文路交差点に2台の3箇所6台となっています。

近隣自治体の状況としては、市営の駐輪場などに施設管理用以外で防犯カメラを設置しているところとしては、かつらぎ町で駅前広場に3台、高野町で道路等に3台、御坊市で道路に6台などです。河内長野市でも、今年度、駅ロータリーや一般道路への設置を予定しているとのこと。また、2月に事件のあった紀の川市では、全小・中学校に各1台のカメラを設置しています。

市としては、平成23年9月に橋本警察署から橋本駅、県立橋本体育館出入り口、林間田園都市駅、紀見峠駅への防犯カメラの設置希望が出されているところですが、必要性を検討し、優先順位をつけて計画的に設置してまいりたいと考えています。

○議長（中本正人君）6番 小林君、再質問ありますか。

6番 小林君。

○6番（小林 弘君）教育長、総務部長、ありがとうございます。

頻繁に起こる重大犯罪に対するということで、近年、本当に凶悪な事件が続いておるわけでございますけども、せんだっての6月議会においても、先輩議員から防犯カメラについての質問はされておると思いますが、橋本市内小・中学校の正門のほうに向けた防犯カメラの設置というのは、どのぐらい実施をされておられるのか。また、そのされておるんでなければ、そんなに重要じゃないのか、それとも、防犯の抑止力として、小・中学校の正門を映していく防犯カメラというのは、必要でないか必要であるかというのを、ちょっとお答え願えたらありがたいですけど。

○議長（中本正人君）総務部長。

○総務部長（吉本孝久君）防犯カメラにつきましては、例えば、まちのほうに設置されている場合、まちを歩く人たちも安心でありまして、犯罪の抑止効果が十分期待できると考えております。

先ほどの、6月議会の一般質問で、必要性を検討し、まず橋本駅前広場から計画的に設置していくとの答弁をさせてもらっておりますので、計画的に設置し、一度に設置すると多額の費用が必要ですので、厳しい財政状況の中、財源の許す範囲内で必要性を検討し、教育施設も考慮した優先順位付けを行い、防犯カメラを設置してまいりたいと考えております。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）部長、ありがとうございます。

一気になかなか何十台も、ある大阪の市においては、高額な予算を付けて防犯カメラの設置をしたと。テレビまた新聞等でも報道がございましたけども、なかなか一気にというのは、財源もたくさん要ることですから、1年1基でも構いません。10年たてば10基付くわけですから、毎年1台でも付けていくんだと。特に、橋本駅前なんかは、もう早くから要望が出されているのであれば、できるだけ早期に防犯カメラを設置されることを市民としては希望されていると思いますので、どうか早い時期での設置をよろしくお願ひしたいと思ひます。

先ほどちょっと言ひました、小・中学校の校門のほうに向けての設置の話なんですけど、教育長、どないですかね。必要性というのは。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）統合に向けてですね。

（「統合じゃないです」と呼ぶ者あり）

○教育長（小林俊治君）設置に向けてですか。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）今の小・中学校の防犯カメラの設置状況を、先にちょっと教えていただけますか。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）設置されていません。公的には。

○議長（中本正人君）6番 小林君。

○6番（小林 弘君）ちょっと、あと30秒ほどです。それが防犯の抑止力になるのか、また、ならないのかというのは、なかなか付けてみてこそわかる話で、またご検討していただいて、1台でも橋本市内に防犯カメラがあれば、何か起こったときの早期解決にもなりますでしょうし、大きな犯罪の抑止力にもなると思ひますので、どうか今後ともよろしくお願ひを申し上げて、質問を終わらせていただきます。

ありがとうございます。

○議長（中本正人君）6番 小林君の一般質問は終わりました。